

平成 26 年度 第 2 回安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会 会議概要

- | | | |
|---|----------|--|
| 1 | 会議名 | 平成 26 年度 第 2 回安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会 |
| 2 | 日 時 | 平成 27 年 2 月 24 日 (火) 午後 2 時から 3 時 |
| 3 | 場 所 | 県安曇野庁舎 401 会議室 |
| 4 | 出席者 | 宮澤宗弘会長 (安曇野市長)、奥山修司委員、塩沢宏昭委員、森田敏彦委員、山崎芳彦委員、樋口眞委員、小野照武委員、近野京子委員、宮下光義委員、美濃輪喜和子委員、矢花正一委員、高橋千治委員、齊藤正昭委員、飯田善規委員、山田守二委員、望月熙史委員、若宮昭三委員、曲淵憲介委員、小林忠由委員、小岩井清志委員、耳塚喜門委員、岡山徳夫委員、中村博委員、宮井寛志委員 (随 行 丸山和重氏)、西郷靖純委員、勝野金文委員、藤松兼次委員 (臼井基氏代理出席)、小林弘委員、飯沼利雄委員、曾根原悦治委員 (赤羽敦子氏代理出席)、飯森正敏委員 (横山正氏代理出席)、北條英明委員 |
| | 事務局 : | 等々力政策経営課長、北條同課企画担当係長、矢淵同課企画担当
大町市役所情報交通課 |
| | 担当課 : | 福祉部 (藤原長寿社会課課長補佐) |
| 5 | 公開・非公開の別 | 公開 |
| 6 | 記 者 | 1 人 |
| 7 | 傍聴者 | 0 人 |
| 8 | 会議録作成年月日 | 平成 27 年 4 月 26 日 |

協 議 事 項 等

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 開 会 | (政策経営課 等々力課長) |
| 2 | あいさつ | (宮澤会長) |
| 3 | 議 事 | (1) 平成 27 年度安曇野市地域公共交通会議兼協議会事業計画 (案)
(2) 平成 27 年度安曇野市地域公共交通協議会予算 (案)
(3) 平成 27 年度各路線運行計画 (案)
安曇野周遊バス運行計画 (案)
中房線一部区間運休計画 (案)
福祉バス運行計画 (案)
定時定路線の運行計画 (案)
(4) 平成 27 年度生活交通改善事業計画 (バリアフリー化設備等整備事業) (案)
(5) 平成 27 年度安曇野市地域公共交通協議会監事 (案) |
| 4 | 報 告 | (1) 平成 26 年度各路線運行実績
平成 26 年度「あづみん」「定時定路線」の運行実績報告
平成 26 年度福祉バス運行実績報告
平成 26 年度「上田線」の運行実績報告
平成 26 年度「安曇野周遊バス」「信州まつもと空港便」運行実績報告
(2) その他路線について |

5 その他

- (1) 平成 27 年度委員の選任について
- (2) 平成 27 年安曇野市地域公共交通会議兼協議会開催予定について

6 閉会

◎協議方法

安曇野市地域公共交通会議設置要綱第 6 条及び安曇野市地域公共交通協議会規約第13条第 2 項に基づき、会長が議事進行を行う。

◎議事録署名人

美濃和喜和子委員、山田守二委員

◎議事

※ (1) と (2) は関連があるため、一括して説明、質疑、承認を行う。

(1) 平成 27 年度安曇野市地域公共交通会議兼協議会事業計画 (案) について

【事務局説明】・・・資料 1

大きく分けて 5 つの事業計画 (案)

- 1. デマンド交通「あづみん」並びに定時定路線の運行を図る。例年どおり。
- 2. 乗合タクシー「あづみん」等の運行検証。「あづみんは」市民の足として定着してきているが、より利便性を向上させるため、平成 27 年度から新たな運行形態などについて研究を開始する。
- 3. 観光交通、市外移動を含む移動、福祉交通との連携について引き続き連携を図りつつ、交通の利便性の向上に努めて参りたい。例年どおり。
- 4. 公共交通サービス等に関する情報提供ということで、利用者向けの会報の発行、様々な媒体を用いた広報、情報発信に努めて参りたい。例年どおり。
- 5. 公共交通総合連携計画の推進に関する事業にも取り組んで参りたい。例年どおり。

(2) 平成 27 年度安曇野市地域公共交通協議会予算 (案) について

【事務局説明】・・・資料 2

□収入について

- 1. 負担金：71,978,000 円の見込み。前年度比マイナス 8,432,000 円。
- 2. 補助金：国庫補助金はゼロ。
- 3. 諸収入：目出しとして 1,000 円。

収入合計 71,979,000 円、昨年度予算 80,411,000 円、比較マイナス 8,432,000 円。

負担金については、市議会の 3 月定例会にて確定する予定であることを了承願いたい。
運賃収入は事業者が徴収し、運行費と相殺させるため、科目には計上していない。

□支出について

- 1. 運営費：本年度予算 1,257,000 円 (前年度比増減なし)。
 - 会議費：790,000 円 (前年度比増減なし)
 - 事務費：467,000 円 (前年度比増減なし)。内容は需用費等。

2. 事業費：本年度予算 70,720,000 円（前年度比 8,432,000 円の減）

運行費：70,309,000 円（前年度比 8,432,000 円の減）。

運行費：タクシー事業者への支払い 49,880,000 円

平成 26 年度までは時間単価 2,000 円（税抜）であったが、平成 27 年度からは 2,200 円（税抜）に単価を改定し、それに基づいて算定した額が 64,905,000 円。そこから、事業者へ直接支払われる国庫補助見込み額 15,025,000 円を差し引いた額になる。26 年度までは補助金額の確定時期の関係で見込み額ゼロと算定していたが、27 年度から見込み額を反映して算定。

運行管理費：社会福祉協議会への支払い 20,429,000 円

人件費 14,131,000 円、通信運搬費 1,980,000 円、システム保守料 1,915,000 円など。これらは「あづみん」の運行に必要な経費で、社会福祉協議会の収入になるものではない。

運行推進費：411,000 円（前年度比増減なし）

諸収入（1,000 円）、予備費（1,000 円）、租税公課（0 円）も前年度比増減なし。

□収入支出：71,979,000 円（前年度比較 8,432,000 円の減）の予算を編成させていただいた。主な原因は国庫補助額を見込んだことによる減額と、運行単価の改定による増額との相殺によるもの。

【宮澤会長】

只今の事務局からの説明について、ご質問、ご意見等あれば、ご氏名をおっしゃっていただき、ご発言をお願いしたい。よろしいか。質問、意見がないので、平成 27 年度事業計画並びに予算案に承認いただける皆様方の拍手をいただきたい。

（拍手）

それぞれ提案事項につき承認をいただいた。

（3）平成 27 年度各路線運行計画（案） ※関連があるため、一括して説明を行う。

安曇野周遊バス運行計画（案）

中房線一部区間運休計画（案）

福祉バス運行計画（案）

定時定路線の運行計画（案）

安曇野周遊バス運行計画（案）

【飯田委員】・・・資料 3-1

周遊バスの運行路線は、一部区間延長を計画している。延長するのは明科駅から第二白坂トンネル駐車場まで。昨年は大王わさび農場から明科駅まで区間延長したが、27 年度は更に延長する形となる。春と秋、新緑と紅葉の時期に旧篠ノ井線廃線敷を訪れる観光客の利便性を図りたい。

運行日は昨年度同様、119 日間と計画している。運行開始は 4 月 18 日から。6 月までは土日祝日の運行となる。ゴールデンウィーク中は通して運行する。7 月から 9 月にかけては JR の「リゾートビューふるさと号」が明科駅に停車する関係で、降りられる利用者の

足の確保ということもあり、金曜日～月曜日に運行する。こまた、多客期である7月18日から9月14日までは毎日運行とする計画。

廃線敷を訪れる観光客対応として、5月9日から6月28日、10月3日から11月3日までの期間は、先程説明した第二白坂トンネルまで延長して運行する予定。この期間については、廃線敷をとおり明科駅まで戻られる利用者に対応するため、午後の1便を明科駅まで延長運行することで、再び穂高方面まで来られるように利便を図りたい。

西回りのアルプス公園線、ちひろ線については若干運行ダイヤの見直しを行った。JR穂高駅のダイヤ改正、接続時間を考慮し、利便性を高めたい。

料金についてであるが、大町市の「ぐるりん号」と安曇野ちひろ美術館で双方乗り入れを行っているが、今年度は、ここで乗り継ぐ利用者の利便性向上のために共通券を発行したい。安曇野周遊バスの1日券が大人一人800円。「ぐるりん号」の1日券が400円。単純に足せば1,200円であるが、共通券1,000円で販売したい。

中房線一部区間運休計画（案）

【小岩井委員】・・・資料3-2

運行計画自体は、平成26年度と同様。しかし、大きく一点異なる。26年度は閑散期ということで運行空白期間があったが、利用者の利便性を考え、1便だけだが平成27年度は10月までは毎日運行する計画である。10時台に特急「あずさ」が穂高駅に到着することを考慮したものである。

また、今まで休止路線としてその延長の承認を毎年お願いしてきたところであるが、27年度も同様に、スイス村-安曇野の里の区間を休止させていただきたい。この理由は、当初は高速バスとの接続を想定したものであったが、どうしても高速バスの到着時刻が多少遅れ、乗り継ぎができなかったためである。今後も議論していかなければならない中で休止とさせていただいている。

福祉バス運行計画（案）

【事務局（長寿社会課）】・・・資料3-3

平成27年度も今までの運行計画と同様。福祉バスは各地区の老人福祉センター及び、穂高有明の老人保健センターの利用者増を目的に、用途を限定して運行しているバス。

穂高地区の老人福祉センター行きのバスは、月8日間、曜日ごと4路線を運行予定。穂高老人保健センター行きのバスは、月8日間8路線の運航を予定。

三郷地区の老人福祉センター行きのバスは、月8日間4路線を運行予定。三郷地区から穂高有明の老人保健センター行きは月2日間の運行を考えている。

堀金地区の老人福祉センター行きのバスは月6日間、3路線を運行予定。

福祉バスは「貸切」であるが、委託料について国からの指導があり大幅な値上げとなる。基本的にはこの路線を維持する予定だが、使用車両をジャンボタクシーに変更し運行することを考えている。運行本数。コースの見直しも若干行う予定。

【事務局】

定時定路線は日中「あづみん」で使用している車両を基本的は使い、JR大糸線の駅と篠ノ井線駅とを結んでいるもの。運行時間は「あづみん」運行時間の前後となる。電車利用者の接続を考えて設定。ダイヤ改正が行われれば時刻表も見直すか検討。3月14日の改正については朝夕の時間帯であれば大きくても1~2分の違いなので、明科駅-穂高駅、田沢駅-豊科駅、潮沢線ともにダイヤ改正は行わない。しかし、市役所の移動とともに「安曇野市役所前」の表示に関しては「長野県安曇野庁舎前」と変更したい。この点についてご提案申し上げたい。

【宮澤会長】

一通り説明が終わった。何かご質問、ご質疑、ご意見があれば。よろしいか。各路線の事業計画（案）について賛成の承認の方の拍手を求める。

（拍手）

拍手を持って承認されたとする。

（4）平成27年度生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）（案）

【事務局】・・・資料4

生活交通改善事業計画には様々なメニューがあるが、今回は福祉車両を増やすということに対して国庫補助を検討している。昨年度の2回目の会議において同様の内容が認められた。しかし、これは26、27、28の3ヶ年に関する事業計画であり、平成27年度に車両購入などの予定があれば、新たな3年間（平成27年度から29年度）について計画を変更する必要がある。平成27年度にも福祉タクシー車両購入希望の申し入れがあった。

現在のところ、市内タクシー事業者では把握しているところでは9台福祉車両を所有しているが、今後これをまた増やしていく計画になる。市としては、行政だけでなく、民間事業者で車いす対応の福祉車両が増えることは、これからの少子高齢化の進行を考えても市全体として有益なことであり、このようなことを実行する事業者の計画を盛り込んでいきたい。今回の申し入れは南安タクシー(有)からのもの。

事業対象となる金額は3,018,000円、受けることができる国庫補助上限の割合が23%、金額で60万であるが、この計画では満額いただけることを前提にしている。デマンドで使用している車両は老朽化が進んでおり、事業者が車両を用意することになっている。その際にこの車両をデマンドで使用する場合、市からも一部助成することを検討しており、その際には現在空欄となっている箇所に数字が入る。南安タクシーからは毎年該当車両を購入予定、とのことであるので、向こう3ヶ年でも同様の計画とした。承認いただければ、国への補助金申請の手続きにこの計画を添付することになる。

【宮澤会長】

説明は以上になる。ただいまの説明に対しご質問、ご意見等あるか。よろしいか。

（異議なし）

質疑を、打ち切らせていただく。賛成の方の拍手をお願いしたい。

（拍手）

承認をいただいた。

(5) 平成 27 年度安曇野市地域公共交通協議会監事（案）

【宮澤会長】・・・資料 5、資料 8、参考資料 2

安曇野市地域公共交通協議会規約第 7 条の規定により、監事は、第 5 条の会員の中から総会において選出することとなっている。監事の選出について、ご意見等あればお願いしたい。

【宮下委員】

事務局に腹案があれば、お願いしたい。

【宮澤会長】

事務局の腹案を発表させていただくことに異議はないか。

(異議なし)

異議なしの声をいただいた。事務局案をお願いしたい。

【事務局】

松本地方事務所地域政策課長の塩沢委員、安曇野市商工会長の齊藤委員の両名に引き続きお願いしたい。

【宮澤会長】

事務局案について、異議はないか。

(異議なし)

皆様の拍手でご承認をいただきたい。

(拍手)

塩沢委員、齊藤委員には監事としてよろしくお願いしたい。

◎報告

(1) 平成 26 年度各路線運行実績 ※各路線について一括で説明、質疑等を行う。

平成 26 年度「あづみん」「定時定路線」の運行実績報告

【事務局】・・・資料 6-1

1 月末の運行状況となる。平成 26 年度の「あづみん」利用者数は 75,527 人、「定時定路線」については 14,650 人。昨年度同時期と比較し「あづみん」については若干減少、「定時定路線」については大幅な増が見込まれる。運行開始来変わっていない点として、利用者男女比が女性 78.6%、男性 20.9%という割合であること。県内の他の公共交通と比較して男性の利用割合は多い方では、との話も聞いた。利用料金区分について、100 円利用者の割合が 38.5%である。100 円利用者は小学生及び障がい者手帳を所有する方で、ほとんどが後者。この割合は運行当初からの累計であり、最近では 4 割を超えている。小学生の利用もあると聞いており、様々な利用方法がある。年代別利用者数についても、運行当初から 60 代、70 代、80 代も利用割合が多く、この世代で 73.5%を占めている。「あづみん」は時間に正確ではないが、高齢者の足として定着している、と言える。12 月の 1 日平均利用者数は 404 人とおそらく最も混雑した月になる。目標値は 420 人であり、12 月のような状態

が多くなれば近づけるのでは。一番利用者数が多かった日は12月19日で494人。年の瀬で医療機関もお休みになる、生鮮食料品も高くなる、といったことから例年多い時期ではある。最も多く利用した人は768回。1日当たり4回使わないとこの数字にならないので、ほぼ毎日、往復で乗り継ぎし利用していると考えられる。生活の足になっていると言える。

平成26年度福祉バス運行実績報告

【事務局（長寿社会課）】・・・資料6-2

1月末までの利用者数についての報告。穂高地区老人福祉センター行きは月8日間の運行で、248人、1日当たり利用者数平均は3.1人。12月から利用者が若干減っているが、原因は不明。穂高地区老人保健センター行きは2,066人、1日当たり利用者数平均25.8人。堀金地区老人福祉センター行きは月6日間運行で、127人。1日当たり利用者数平均は2.1人。三郷地域老人福祉施設行きは、月8日間運行し、467人1日当たり利用者数平均5.8人。穂高老人保健センター行きは126人、1日当たり利用者平均6.3人。傾向として、利用者は固定化してきている、と言える。

平成26年度「上田線」の運行実績報告

【耳塚委員】・・・資料6-3

平成26年4月から12月までについて、安曇野市から上田温泉口への利用者数120名、上田温泉口から安曇野市への利用者数128名、計248名。1運行あたり利用者は平均1.3名。27年度は、安曇野市観光協会の協力で、新幹線（上田駅）→上田線（安曇野）→周遊バス→上田線→新幹線、というコースをPRしていただけるので期待している。

平成26年度「安曇野周遊バス」「信州まつもと空港便」運行実績報告

【飯田委員】・・・資料6-4、5

安曇野周遊バスの運行実績について。4月当初、消費税増税などの観光面では逆風が吹いていた。7月の南木曾町での土石流災害で「特急しなの」の運休の影響で7月以降の大幅な利用者減が一番大きかった。運行日数は前年度比9日間増やしたが、最終的には利用者数は前年度比89.6%であった。電車での観光客の2次交通として重要な役割があるので、27年度以降は回復できるよう努力したい。

信州まつもと空港シャトル便の運行実績について。7月4日から金、土、日、月の週4日間の運行、夏休み期間中は毎日運行した。運行回数は33回、利用者数累計で56名。前年度と比較すると倍以上の数値になっているが、まだまだ宣伝が足りなかった、と感じる。

(2) その他路線について

【事務局】・・・資料7

池田町営バスについて。安曇野市内を運行しているバスとしては、池田町営バスと生坂村営バス「いくりん」がある。池田町営バスについて、JRのダイヤ改正等に伴い変更があった。市内に関係するものは池田町と明科駅を往復する「明科線」と、穂高駅に乗り入れてくる「安曇野線」がある。JRダイヤ改正に合わせて1、2分変更している。適用はダ

イヤ改正の日である平成 27 年 3 月 14 日。明科線の停留所の一つ、「テレビ塔入口」について、既にテレビ塔はないので「旧テレビ塔入口」と名称を変更したい、とのこと。

【宮澤会長】

各路線について、タクシー事業者から補足等あればお願いしたい。どうぞ。

【耳塚委員】

先程中房線について説明があったが、昨年 7、8 月にかけて土日の天候が悪く、登山客数が減っていたが、9 月連休には対応しきれないくらいの利用があった。特に、しゃくなげ荘周辺からの問い合わせが午前 1 時から 2 時頃から非常に多かった。内容はバスやタクシーの利用方法について。市長も山岳観光振興に力を入れていただける、とのことであったので、是非とも駐車場の整備をお願いしたい。この連休時には小岩井委員が朝 3 時、4 時から現地で交通整理にあたったが、駐車場がとても足りなかった。是非ともよろしくお願いしたい。

【宮澤会長】

他にないか。駐車場整備については観光交流促進課の方で何かないか。中房線だけでなく、しゃくなげの湯改修にも関連して。

【曾根原委員代理 観光交流促進課長】

しゃくなげの湯整備に伴い登山客用駐車場を確保するというので進めている。それだけでは十分な確保はできないので、下の方でよい場所がないか現在検討している。そのような方向で進めたい。

【宮澤会長】

よろしいか。市としてもできるだけ取り組んでいくということで了解願いたい。その他にあればお願いしたい。

【小林弘委員】

本協議会規約の一部改正をお願いしたい。規約第 34 条に規約の変更は総会の承認を経るもの、とある。変更内容は、第 2 条の事務所について。新本庁舎開設に伴い政策部も移動となるため、「豊科 6000 番地に置く。」という表記に一部変更させていただきたい。これに伴い附則で「平成 27 年 4 月 1 日から施行する。」という規約改正を上程させていただきたい。皆様方のご承認をいただきたい。

【宮澤会長】

只今の説明に対し、承認を賜りたい。拍手で承認いただきたい。

(拍手)

◎その他 ※ (1)、(2) について、一括で説明、質疑。

(1) 平成 27 年度委員の選任について

【事務局】・・・資料 8

平成 27 年度においても、従来どおりお願いをしたい。しかし、5 地域の審議会選出の委員の皆様については「市民又は利用者の代表」として選出いただいているが、審議会そのものが今年度で終了となるため、新たに「地域交通ネットワーク事業運行委員会」に各地

域から市民の代表として選出いただいている5名の方をお願いしたい、と考えている。この委員会は社会福祉協議会で組織いただいているもので、3ヶ月に1回関係者が集まり、利用者から寄せられる意見等を元に、より良い運行を目指すために開催しているもの。この5名の方に地域審議会の皆様に変わり委員をお願いしたい。

(2) 平成27年安曇野市地域公共交通会議兼協議会開催予定について

【事務局】

資料は特になし。総会は年2回開催。例年であれば5月開催。これは前年度の決算報告会という位置付け。平成28年2月に翌年度の事業計画案、予算案、運行計画案等を審議いただく位置付け。この2回の開催を予定しているので、お願いしたい。

【宮澤会長】

只今の事務局説明について、ご意見等あればご発言をお願いしたい。

【宮井委員】

平成27年度の当社労働組合からは、本日随行している丸山和重氏に交代したい。

【事務局】

各委員についても4月以降、事務局にて確認させていただいてから、委嘱させていただきたい。

【宮澤会長】

事務局から説明があったが、委員の皆様には4月からも引き続きお願いしたい。退任される各地域審議会委員の皆様におかれては、今日までご尽力いただいたことに対し、深くお礼申し上げる。

その他に委員の皆様から何か発言があればお願いしたい。よろしいか。

以上をもって本日の議事を終了する。慎重審議いただき、承認いただいた。感謝申し上げます。

◎ 閉会